

パワー全開！心、おどる！君が主役！

校長 成田 弥生

*いよいよ運動会

今週末、5月30日はいよいよ運動会です。今年度より、全校児童が一堂に会しての開催となります。最高学年の6年生がリードし、運営も担う「子ども発」の運動会。

子供たちが決めたスローガン「みんなの運動会～パワー全開！心、おどる！君が主役！～」の通り、全員が力を合わせ、ベストを尽くし、ワクワク楽しい運動会にしていきたいと思います。

また、当日や準備のための保護者の方による運動会サポートボランティアの活動にも感謝です。教職員と共に周りの大人の方々がいつも「子供たちのために」と考え、心を配り、共に活動していただけることが学校を支える大きな力となっています。

それぞれの子供がゴールイメージを定めて、目標に向かって頑張る機会となるのが運動会などの学校行事です。行事を通して、子供たちは大きく成長をします。その成長の後押しとなるのが周りの大人や仲間が認めてくれること。また、期待してくれる誰かのために頑張ること。大切な人からの期待や励まし、さらには褒めて認めてもらうことが大きな励みとなり、成長につながっていきます。子供たちの頑張りを、心から賞賛し、「子供も大人も笑顔あふれる運動会」にしていきたいと思えます。当日は、温かいエールをよろしくお願ひします。

*相手意識を育てる

代々木山谷小学校に着任して、早いもので2カ月が経ちました。校内を毎日、何度か回っている中で「優しい子が多い」と感じています。

雨の日のある朝、友達のランドセルが濡れているのを見た2年生の女の子がランドセルを丁寧に拭いてあげている姿がありました。4月は6年生が毎日、とても優しく1年生のお世話をしてあげていました。1年生の子が自分でできるようにそっと促し、根気強く待つ姿もありました。(大人はここまで待てないかもしれません) 休み時間の後には、転んで泣いている友達に「大丈夫だよ。大丈夫だよ。」とずっと励まし続けてくれた子もいました。何だか涙が出そうなほど感動しました。

どうしたらこのように優しい子が育つのか。担任の優しい言葉がけを子供が真似をする。上級生が優しく面倒を見ている姿があって、優しい行動が下級生に受け継がれる。

優しい言葉や行動は、お手本となる身近な大人の姿から育っていきます。

「言葉は言霊」というように、温かい言葉、幸せな気持ちが広がる言葉を子供たち、そして身近な人に意識して、使っていきたいと思えます。

結びに、アメリカインディアンの言葉を紹介します。

○ほめられる中で育った子は いつも感謝することを知ります。

○はげましを受けて育った子は 自信を持ちます。

○人に認めてもらえる中で育った子は 自分を大事にします。

○仲間の愛の中で育った子は 世界に愛をみつけます。

～アメリカインディアンの教え(加藤諦三著)より抜粋～

